

学習者の主体的な学びを 支える支援とは？

2018年11月23日
日本LD学会自主シンポジウム
江戸川区立本一色小学校 有澤直人

なぜUDLを学びたいと思ったのか

個別指導の充実

- * 「通級による指導」を担当
- * 個別指導計画に基づいた個に応じた指導（自立活動・教科書のない教育）
- * 障害特性の理解と特性に応じた指導

通常の学級との連携

- * 個別で学習したことを通常の学級で生かす（小集団での指導の充実）
- * 子供が多くの時間を過ごしているのは、通常の学級
- * そこでの適応を考えた時、担任のできる支援が必要（提案・助言）

特別支援教育の充実

- * 支援の対象の拡大（意識の変化）
- * 通常の学級には、配慮が必要な子供が複数いる
- * 個に応じた支援の限界？

UDLが有効？

- * 通常の学級内での支援の充実が必要？
- * 多様性に応じた授業が有効
- * 教師の意識改革が必要

UDLの授業実践の紹介

- 2017年1月18日(水)
- 本一色小学校 6年1組
- 「国語」漢字の広場7
- 「さまざまな読み方」

意味によって読み方が変わる

か　　う　　じ
み　わ　　よ
て　て　　う
ず

上手



特別な読み方

け
さ

今
朝

ね
え

姉
さん

複数の訓

お 降^おりる
降^ふる

せ 背^せなが
背^{せい}くらべ

よ^よる
その夜

同じ漢字でも
読み方がちがう
言葉を見つけて
表現しよう

この授業のゴールは？

■ 目標

- 同じ漢字でも読み方が違うものについて知る
- 自分に合ったやり方で漢字を調べ、言葉の使い方に関心をもつ

どうやるの？

1人で



2人以上で



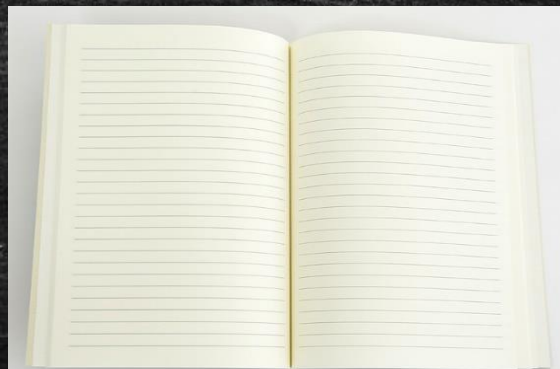
- 表現するために使う物を選ぶ

自分の
やりやすい方法
を
選ぼう

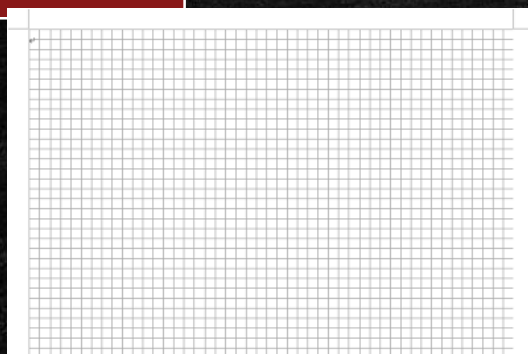
表現するために使える物



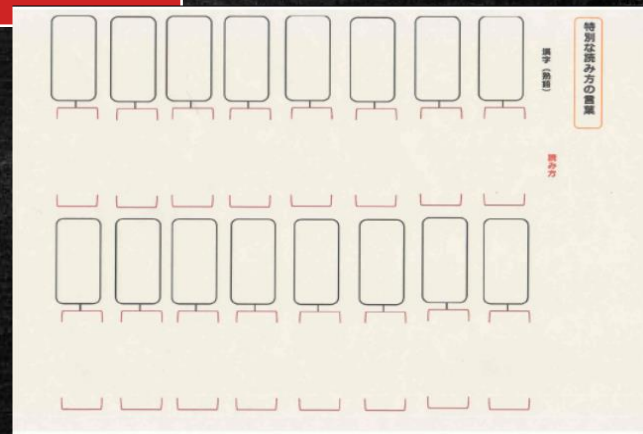
画用紙



ノート



方眼紙



ワークシート



- ・表現するために使う物を選ぶ

- ・調べるために使う物を選ぶ

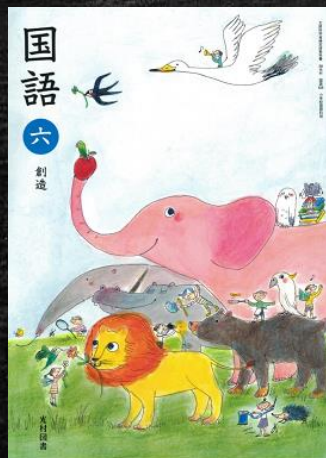
- ・漢字を調べる

- ・調べたことを表現する

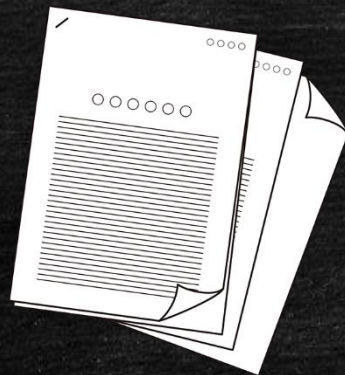
調べるために使える物



タブレットPC



教科書



資料



国語辞典



漢字辞典

上手

意味によって
読み方が変わる

今朝
姉さん

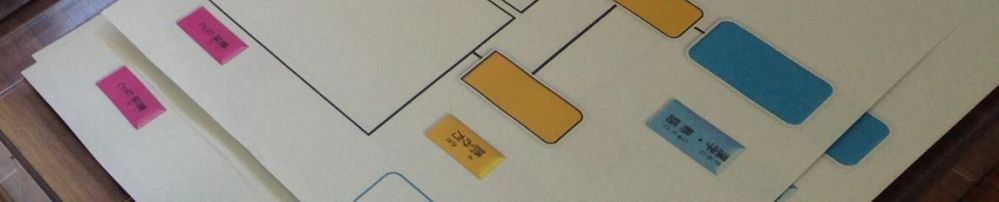
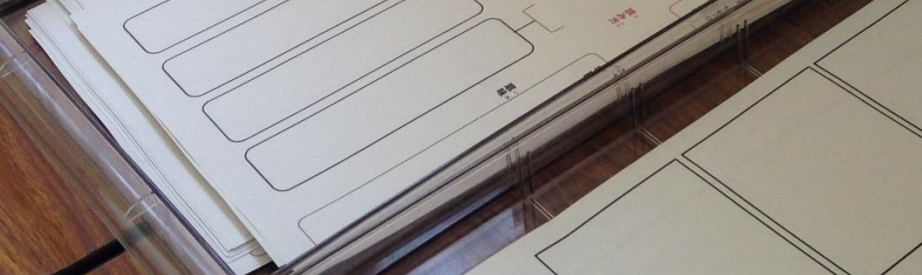
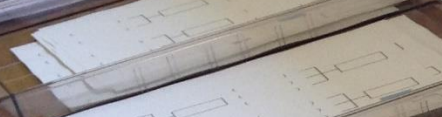
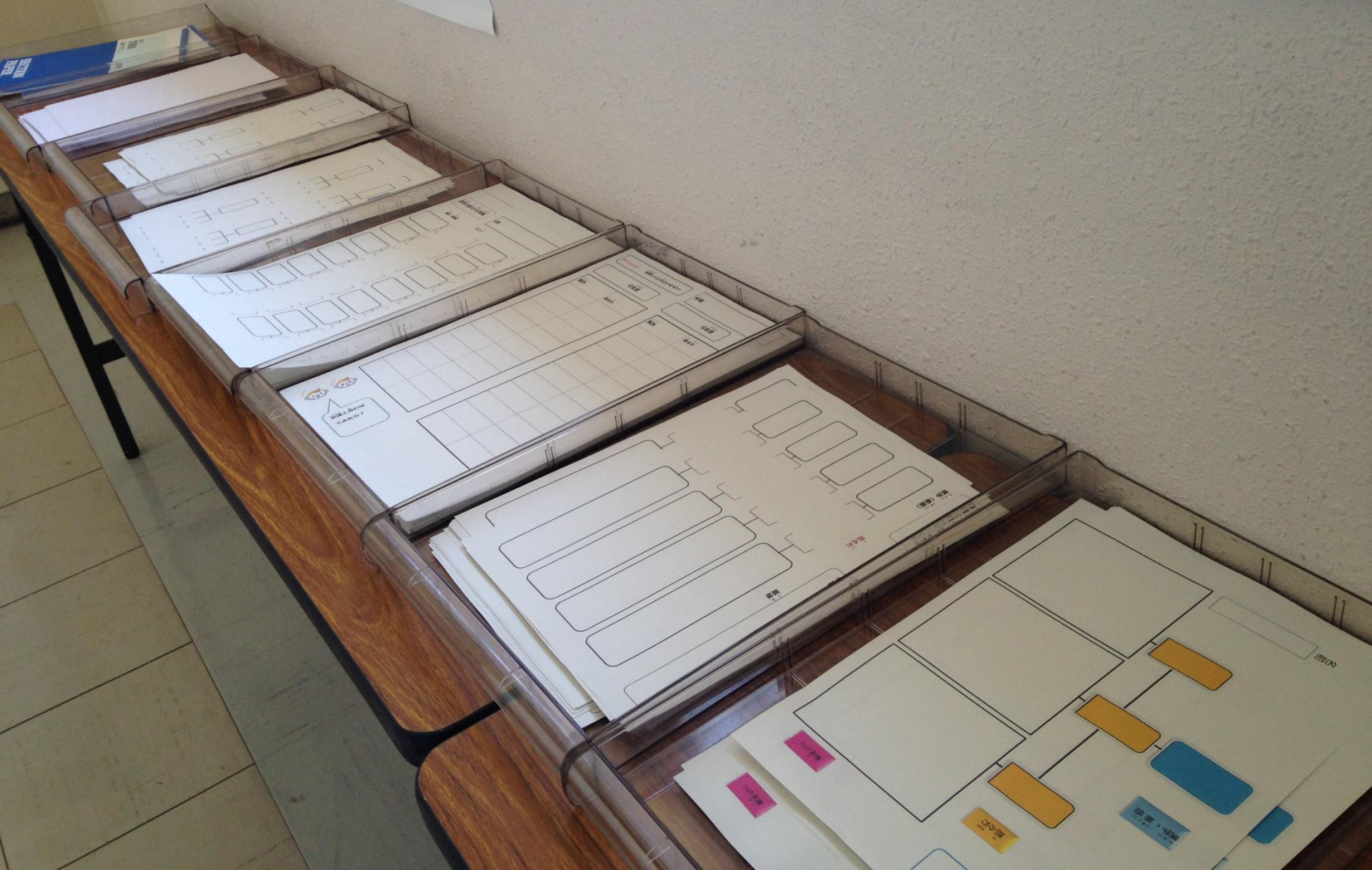
特別な読み方

降りる
降る

複数の
訓がある

1つ 2つ 3つ → どれもOK

7-7-7-7





PLUS
方眼紙
A4

SECTION
PAPER

BETTER BUSINESS COMMUNICATION

「十分」	「風車」	「色紙」	「大家」	「最中」	「仮名」	「小人」	「黒子」
「目」	「如」	「開け」	「遊ぶ」	「温まる」	「座す」	「居る」	「居れる」
「寝」	「寝る」	「熟れる」	「道る」	「戻る」	「歩かす」	「被る」	「被る」
「着」	「着る」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」
「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」	「脱」

「色紙」 いろがみ 種々の色に染められた紙。折り紙用の着せ紙。しきり紙。和紙。俳句・狂歌などを書く紙。
「空缶」 あきかん 飲み終わった身が入っていない空の缶。めくれない未使用の缶。
「青山」 あおやま 木々が青々と茂った山。東京府の地名。せいざん 僧。
「板名」 かな 漢字に对本独自の文字。主な、カタカナ。かめい 本名での名前。
「小人」 こびと 小さな人。登場する空想上の人。江戸時代の身分。しやうじん 小さな僧。ひやくにん 百鬼夜行。

三十路 ()	神楽 ()	防人 ()	舍人 ()	百足 ()	久遠 ()	今昔 ()	五月雨 ()	時雨 ()	主水 ()	生業 ()	鳴門 ()	十手 ()	似非 ()	明星 ()	心太 ()	昼行灯 ()	救世 ()	一寸 ()	白粉花 ()	紅葉 ()	山茶花 ()	百日紅 ()	無花果 ()	独活 ()	細魚 ()	秋刀魚 ()	玉筋魚 ()	大女子 ()	氷下魚 ()
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------

高い立派な、度量のある人。大人物。
開ける (あける) ・ ひらける ・ はだける ()
埋まる (うまる) ・ しずまる ()
埋める (うめる) ・ しずめる ()
得る (うくる) ・ 得る ()
獲る (うかる) ・ 獲る ()
幼い (おさない) ・ いとけない ()
胸かす (おどかす) ・ おどかす ()
極まる (まわまる) ・ まわまる ()

三十日 (みそか)	大角豆 (ささげ)	人參 (にんじん)	百合 (ゆり)	河馬 (かは)	商人 (あきんど)	時化 (しかけ)	素戔 (ひやかし)	丑細理 (あじあ)																						
三十路 (みそじ)	神楽 (かぐら)	防人 (さきもり)	舍人 (とねり)	百足 (むかで)	久遠 (くおん)	今昔 (こんじやく)	五月雨 (さみだれ)	時雨 (しぐれ)	主水 (もんず)	生業 (なりわい)	鳴門 (なるど)	十手 (じって)	似非 (なせ)	件 (くだん)	明星 (みょうじやう)	心太 (ところてん)	昼行灯 (ひるあんどん)	救世 (くげ)	一寸 (ちよっと)	白粉花 (おしろいばな)	紅葉 (もみじ)	山茶花 (さざんか)	百日紅 (さるすべり)	無花果 (いちじく)	独活 (うど)	細魚 (さより)	秋刀魚 (さんま)	玉筋魚 (いかなご)	大女子 (おおなご)	氷下魚 (こまい)

「大家」 おおや 商家主。たいか 大きな家。おとな 大人。たいたしん 大人になった人。
「色紙」 あきかん 飲み終わった身が入っていない空の缶。めくれない未使用の缶。
「青山」 あおやま 木々が青々と茂った山。東京府の地名。せいざん 僧。
「板名」 かな 漢字に对本独自の文字。主な、カタカナ。かめい 本名での名前。
「小人」 こびと 小さな人。登場する空想上の人。江戸時代の身分。しやうじん 小さな僧。ひやくにん 百鬼夜行。

「色紙」 あきかん 飲み終わった身が入っていない空の缶。めくれない未使用の缶。
「空缶」 あきかん 飲み終わった身が入っていない空の缶。めくれない未使用の缶。
「青山」 あおやま 木々が青々と茂った山。東京府の地名。せいざん 僧。
「板名」 かな 漢字に对本独自の文字。主な、カタカナ。かめい 本名での名前。
「小人」 こびと 小さな人。登場する空想上の人。江戸時代の身分。しやうじん 小さな僧。ひやくにん 百鬼夜行。

開ける (あける) ・ びらける ・ はだける ()
埋まる (うまる) ・ しずまる ()
埋める (うめる) ・ しずめる ()
得る (うくる) ・ 得る ()
獲る (うかる) ・ 獲る ()
幼い (おさない) ・ いとけない ()
胸かす (おどかす) ・ おどかす ()
極まる (まわまる) ・ まわまる ()

（白路）
 （三十路）
 （神防）
 （舍人）
 （百足）
 （久遠）
 （今昔）
 （五月）
 （雨）
 （水）
 （生業）
 （門手）
 （非似）
 （件）
 （星）
 （心）
 （昼）
 （救）
 （一）
 （白）
 （紅）
 （山）
 （）

「青山」
 あおやま 木々が青々と茂った山。東京都の地名。せいざん 墓。

「空缶」
 あきかん 飲み終わった取り出したりしての中身が入っていない空の缶。くうかん まだ中身を詰めていない未使用の缶。

「色紙」
 いろがみ 種々の色に染めた紙、折り紙用の着色しきし 和歌・俳句・書画などを書き。

「大家」
 おおや 貸家主。たいか 大きな家屋。あるべきすぐれた見識を持っている人。

「大人」
 おとな 成人になつた人。たいじん 大人。

高い立派な人、度量のある人、大人物。

「仮名」
 かな 漢字に对本独自の文字。主なカタカナ。かめい 本名でけの名前。

「小人」
 こびと 小さな人、登場する空想上の人。江戸時代の身芸しょうじん 小さな量や品生こまなて

「青山」
 あおやま せいざん

「空缶」
 あきかん くうかん

「色紙」
 いろがみ しきし

「大家」
 おおや たいか

「大人」
 おとな たいじん

「仮名」
 かな かめい

「小人」
 こびと しょうじん

「十分」
 じゅうぶん じつぶん

「生物」
 なまもの せいぶつ

- 開ける (あける)
- ひらける (はだける)
- 埋まる (うまる)
- うずまる
- 埋める (うめる)
- うずめる
- 得る (える)
- うる
- 獲る (える)
- とる
- 怒る (いかる)
- おこる
- 幼い (おさない)
- いとけない
- 脅かす (おどかす)
- おびやかす
- 極まる (きわまる)
- きまる

てだし

「黒子」
 くろこ

「最中」
 さいちゆう ちなちゆう

ぐ注るる擦ど退ぶ寒る盛お臭び括る極

「妹」
 いも・いもり
 「腕」
 うで・かいな
 「男」
 おん
 「面」
 おも・おん
 おも・おん

「臭い」
 臭い
 「暇」
 暇
 「掌」
 掌
 「敵」
 敵
 「潮」
 潮
 「魚」
 魚
 「件」
 件
 「葛」
 葛
 「蕪」
 蕪
 「形」
 形
 「踵」
 踵
 「顔」
 顔
 「面」
 面
 「男」
 男
 「腕」
 腕
 「妹」
 妹

「十分」
 「風車」
 「色紙」
 「大家」
 「最中」
 「仮名」
 「小人」
 「黒子」

「色紙」
 いろがみ
 「空伍」
 ありあき
 「青山」
 あおやま

「空伍」
 ありあき
 「青山」
 あおやま

三十日 ()
 三十路 ()
 神楽 ()
 防人 ()
 舍人 ()
 百足 ()
 秋桜 (こすもす)
 大角豆 (ささげ)
 人参 (にんじん)
 百合 (ゆり)
 河馬 (かば)

UDLガイドラインに基づく本時のオプション

UDLガイドラインに基づく本時のオプション

I、取り組みに関する多様な方法の提供	II、認知のための多様な方法の提供	III、行動と表出に関する多様な方法の提供
<p>1：自己調整のためのオプションを提供する</p> <p>○本時の予定と時間を提示する。</p> <p>○学習のゴールを提示することで、学習活動を明確にする。</p>	<p>4：理解のためのオプションを提供する</p> <p>○本時の学習内容についてポイントを絞って提示する。</p> <p>○学習のゴールが理解できたかどうか確認する。</p> <p>☆5段階の指サイン</p> <p>☆指サインで、3以下の児童を集めて説明する。</p>	<p>7：実行機能のためのオプションを提供する</p> <p>○イメージを持ちやすくするために、調べた内容の表現方法を具体的に示す。</p> <p>☆やり方を示すガイド</p>
<p>2：努力やがんばりを継続させるためのオプションを提供する</p> <p>○調べる資料や表現方法は、自分で選べるようにする。</p> <p>○自己評価用のワークシートは簡単に書きやすいものにする。</p> <p>○数値化することで、めあての達成度が一目で分かるようにする。</p>	<p>5：言語、数式、記号のためのオプションを提供する</p> <p>○難しい言葉や表現を簡単な言い回しや記号にして、分かりやすく表示する。</p> <p>○文字による解説をイラスト、図表、実物などで表示する。</p>	<p>8：表出やコミュニケーションに関するオプションを提供する</p> <p>○調べるために必要な資料を複数提供する。</p> <p>☆タブレット、漢字辞典、国語辞典、国語教科書、資料</p> <p>○表現活動に必要なものを複数提供する。</p> <p>☆画用紙、ノート、方眼紙、ワークシート</p>
<p>3：興味を引くために多様なオプションを提供する</p> <p>○調べるための資料は「漢字だけのもの」「ルビ付きのもの」など、複数用意する。</p>	<p>6：知覚するための多様なオプションを提供する</p> <p>○分かりやすく提示する。</p> <p>☆ICT パワーポイント、絵、画像</p> <p>☆プリント フォントポイント、ルビ、色分け</p>	<p>9：身体動作のためのオプションを提供する</p>
<p>目的を持ち、やる気のある学習者</p>	<p>学習リソースが豊富で、知識を活用できる学習者</p>	<p>方略的で、目的に向けて学べる学習者</p>

児童の振り返りカードの結果

①めあては達成できましたか

できなかった 4名、あまりできなかった 1名

どちらともいえない 2名、ややあてはまる 10名

あてはまる 15名

②漢字の読み方に興味をもちましたか？

興味がない 0名、あまり興味がない 1名

ふつう 3名、勉強する必要性を感じた 10名

もっと勉強したい 18名 (回答32名)

子供たちの感想のまとめ

- 国語の授業は好きじゃないけど、この勉強を教えてもらったら少し国語の授業に興味をもった。
- 友達と「これがあったよ!」とか「へえこう読むんだー」と新しい発見ができた。最後は手分けをして国語と漢字の辞典で調べた。すごく楽しかった!
- いろんな漢字があっておもしろかった。授業の説明も分かりやすかった。
- こんな楽しい授業は初めて。また通常でもやりたい!
- 最初ははっきり言って「やだなー」って思ったけど、やってみてとても楽しかった。
- 自分で学習方法を選べるから、一人一人に合った学習ができると思った。

自分の得意な学び
方を選ぶようになる
ためには？

学び方に関するコメント(1)

*自分で調べて、自分がやりやすいワークとかで勉強できてよかったです。あと一寸楽しかったです。

*漢字を書くことは苦手だけど、読み方は得意だから今回の勉強の内容がすごく分かった。

*タブレットを使ってやったのが楽しかった。あと、いろいろな漢字を調べたりするのが楽しかった。

*詳しく漢字を調べたら、知らなかった読み方もあって知れてよかった。どう表現するかによって見方が違って来るから悩んだ。いい経験だった。

*友達と「これがあったよ!」とか「へえこう読むんだー」と新しい発見ができた。最後は手分けをして国語と漢字の辞典で調べた。すごく楽しかった!

学び方に関するコメント(2)

*自分たちで自由に学べて楽しかったです。聞いたこともない読み方がたくさんあって面白かったです。

*辞典から漢字を見つけるのは結構難しかったけど、とても勉強になりました。意味が違う漢字は探すのがとても大変でした。またこの勉強をしたいです。

*資料を見ただけでも今まで知らなかった漢字やその読み方が出てきたので、結構勉強になったし、少し楽しかったです。こんな感じの授業ならもう1回したいと思った。

*いろいろなものや機械、資料などで調べると、自分が知らなかったものにどんどん気づいていけて楽しかった。

*いろいろな漢字を知ってみたい。あまり書けなかった。もうちょっと書きたかった。タブレットとか資料があったからわかりやすかった。

自分の得意な学び方を選ぶようになるためには？(子供側)

- そもそもいろいろなやり方があることを子供は知らないのでは？
- やり方を選んでいい、という教育を受けていない
- UDLの授業の積み重ねがないと選べるようになることは難しい
- オプションを自分で選んで使いこなせるようになるための経験の積み重ねが必要

オプションについて

- ただ、オプションを用意するだけでは意味がない
- 目的が明確になっていなければ、オプションを増やしても意味がない。
- 自分に合った方法を自分で方略的に使えることが大事
- 自分でこうしたいとわかるのが最終ゴールで、そこにもっていく意図が先生にあるかどうかが鍵？
- 子供が自分の学びをかじ取りできるようにしていく。助言が子供自身を**学びのエキスパート**に育てる方向に結び付いていることが必要。

通常の学級でのUDLの普及のネックとなるものは何か？（教師側）

- 一斉授業を受けてきた人が教員になっている（他の授業形態を知らない）
- 一斉授業の教授法として発展してきた様々な方法がある
- その意味や、良し悪しを考えずにやっていることが多い（自分のやりたい好きな方法で教える。他の方法を知らない。）
- 教える内容が決まっている（教科書がある。子供によって習得の方法が違うという風には考えない。）
- クラスの全員が100%習得しなくてもいいと考えている？